



若い季節

NO.84

令和4年1月発行

〒520-0044 大津市京町4丁目3番28号 滋賀県厚生会館・滋賀県子ども・青少年局分室内 TEL077-523-5484 FAX077-526-7331
未来にはばたく青少年の健全育成をすすめる民間団体 **滋賀県青少年育成県民会議**

令和3年度滋賀県青少年等知事表彰 滋賀県青少年育成県民会議顕彰等表彰式



開会



知事表彰



県民会議表彰



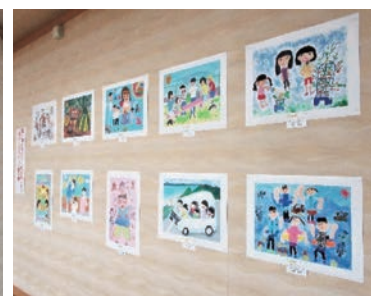
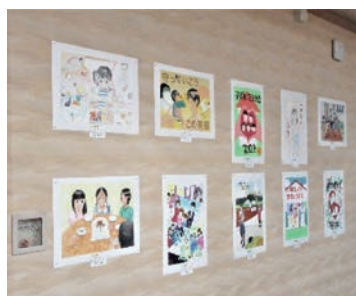
「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」作文、絵画・ポスター表彰



閉会



「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」
最優秀作文の発表



「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」
絵画・ポスター入選作品掲示

主な内容

- 令和3年度滋賀県青少年等知事表彰 滋賀県青少年育成県民会議顕彰等表彰式 2
- 青少年育成功労者の皆様 3
- 「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」作文、絵画・ポスター 入賞者 4
- 「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」作文 最優秀作品 5
- 「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」絵画・ポスター 入賞作品 8
- 市から町から（甲良町・長浜市） 10
- 賛助会員紹介（企業・団体等） 11
- 第25回中学生広場「私の思い2022」開催案内、賛助会員（個人）の紹介、会員募集 12

令和3年度滋賀県青少年等知事表彰 滋賀県青少年育成県民会議顕彰等 表彰式

令和3年度滋賀県青少年等知事表彰 滋賀県青少年育成県民会議顕彰等表彰式が、令和3年11月13日（土）に滋賀県庁東館大会議室において、新型コロナウイルス感染症の広がりにより県民大会の規模を縮小し、表彰式として開催されました。

表彰式は、事前に参加申込をとり、当日は全ての参加者に体温測定とマスクの着用、会場の換気の徹底、座席の配置の工夫など感染予防対策を行いながら開催されました。青少年の健全育成活動に尽力いただいた功労者のみなさん、23名と7つの団体の表彰や、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文、絵画・ポスターの優秀作品の表彰が行われました。青少年活動では、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」最優秀賞に選ばれた児童3名のすばらしい作文朗読発表がありました。

また、会場内壁面では、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する絵画・ポスターの入賞作品20点が展示されました。



あいさつ
(兒玉 典子 会長)



知事祝辞
(代読:奥田 康博 子ども・青少年局長)



閉会のあいさつ
(安部 侃 県民会議副会長)



知事表彰



県民会議表彰



**「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」
作文表彰**



**「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」
絵画・ポスター表彰**

受賞者の皆様

(敬称略、順不同)

滋賀県青少年等知事表彰

☆青少年

川 邊 葵 (大津市) ジュニアリーダークラブの充実・発展、ジュニアリーダーの養成
 細 川 紗 奈 (大津市) ジュニアリーダークラブの充実・発展、ジュニアリーダーの養成

☆青少年健全育成成功労者

福 西 美知子 (甲賀市) スカウトの指導ならびに指導者の養成、組織強化
 船 田 勉 (草津市) スカウトの指導ならびに指導者の養成、組織強化
 八 軒 茂 勉 (大津市) 海洋少年団の充実・発展、青少年の健全育成
 中 野 宗 城 (草津市) 青少年の健全育成・指導、地域への貢献
 田 中 ひとみ (野洲市) 青少年の健全育成・指導、地域への貢献
 八 田 洋 子 (高島市) 青少年の育成・指導、体験活動を通じた青少年育成への貢献

☆青少年育成指導団体

和邇学区青少年育成学区民会議 (大津市) 青少年の健全育成活動、地域に根ざした社会貢献活動の充実
 小野学区青少年育成学区民会議 (大津市) 青少年の健全育成活動、地域に根ざした社会貢献活動の充実
 木戸学区青少年育成学区民会議 (大津市) 青少年の健全育成活動、地域に根ざした社会貢献活動の充実

滋賀県青少年育成県民会議顕彰

☆青少年

内 田 弘 子 (大津市) 積極的なガールスカウト活動の実施

☆青少年団体

もりやま青年団 (守山市) 若者の視点による活動で市の活性化と青年層の社会参画に寄与

☆青少年育成指導団体

彦根中学校区地域学校協働本部 (彦根市) 年間を通した子どもたちへの体験や学びの場の提供
 篠原学区青少年育成会議 (野洲市) 年間を通した子どもたちへの体験や学びの場の提供
 能登川東小学校区地域教育協議会 (東近江市) 年間を通した子どもたちへの体験や学びの場の提供

☆青少年指導者

秋 澤 順 子 (ガールスカウト) 発団 50 年を超える団の委員長、県連盟の理事として運営に貢献
 上 里 美穂子 (ガールスカウト) 団リーダー長、県連盟理事・情報委員会委員、看護師としても貢献
 湯 昌 美 (ボーイスカウト) 滋賀連盟の事務局長、アマチュア無線の国家資格者として運営に貢献
 森 昌 宏 (大津市) 学区少年補導(委)員、学区民会議会長として青少年の育成・指導に貢献
 田 邊 義 男 (長浜市) 地域づくり協議会部会長、市民会議理事として青少年の育成・指導に貢献
 藤 森 了 堅 (長浜市) 高月青少年育成会会長、市民会議副会長として青少年の育成・指導に貢献
 橋 本 重 一 (近江八幡市) 学区少年補導委員として青少年を育成・指導し、幹事としても運営に貢献
 棚 橋 幸 男 (草津市) 体育振興の指導者、学区民会議会長として、青少年の育成・指導に貢献
 清 水 昭 博 (草津市) 少年補導委員、学区民会議の非行防止部会員、市民会議理事として貢献
 山 口 康 雄 (栗東市) 少年センター所長、スクールガード等の活動を通じて育成・指導に貢献
 池ノ内 靖 彦 (甲賀市) スポーツ少年団保護者会会長から指導者として青少年の育成・指導に貢献
 田 中 修 (野洲市) ボランティア、学校、団体等とネットワークを構築し、育成・指導に貢献
 (故)東良喜代一 (湖南市) 学区民会議会長、市民会議理事としてまちづくり協議会との一本化に貢献
 青 木 静 江 (湖南市) 学区民会議副会長、市民会議の評議員・役員として育成・指導に貢献

令和3年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」入賞者

(敬称略、学年順、五十音順)

作文

低学年の部

最優秀賞	水本結月	守山市立速野小学校	1年	おかえり、おとうさん!
優秀賞	寺内心咲	守山市立玉津小学校	1年	かぞくみんなのゆめ
優秀賞	久西祐詩	長浜市立長浜小学校	2年	つばめがきたよ
優秀賞	宮澤光琉	長浜市立七郷小学校	2年	ぼくのかぞく
奨励賞	平井穂実	守山市立守山小学校	1年	私の大きなかぞく
奨励賞	伊吹瑠海	彦根市立平田小学校	2年	もうすぐ五人かぞく
奨励賞	北川 澤蘭	長浜市立七郷小学校	2年	わたしのかぞく
奨励賞	小山 蘭	長浜市立神照小学校	2年	ずっとほしかった きょうだい

中学年の部

最優秀賞	教野孔栄	長浜市立高時小学校	3年	家族が大切にしているもの
優秀賞	天野陽南子	長浜市立小谷小学校	3年	夏休みのラジオ体そう
優秀賞	山内悠生	長浜市立高時小学校	3年	ぼくのおばあちゃん
優秀賞	豊田夢來	彦根市立金城小学校	4年	わたしのひいおばあちゃん
奨励賞	内海希維	長浜市立小谷小学校	3年	新しい家族がふえました
奨励賞	川上実郁	守山市立守山小学校	4年	家族で大切にしていること ~家族の思い出づくり~
奨励賞	木村有沙	野洲市立中主小学校	4年	親子のつながり
奨励賞	寺井 凜	守山市立守山小学校	4年	「何ごとにもチャレンジ」

高学年の部

最優秀賞	北川琉生	彦根市立旭森小学校	6年	あたり前はあたり前じゃない
優秀賞	今岡愛唯	長浜市立富永小学校	5年	真ん中の役割
優秀賞	清水紅寧	長浜市立永原小学校	5年	私のおばあちゃん
優秀賞	松田天音	大津市立膳所小学校	6年	父にもらった翼
奨励賞	北川陽愛羽	長浜市立湯田小学校	5年	家族との絆
奨励賞	井上琴羽	彦根市立旭森小学校	6年	はなれていても思い合える
奨励賞	久西奏和	長浜市立長浜小学校	6年	ツバメとのひととき
奨励賞	山本泰暉	守山市立立入が丘小学校	6年	ペランダは癒やしのリビング

絵画・ポスター

児童（小学生）の部

最優秀賞	堀川愛望	米原市立米原小学校	2年	おいしくなあれ 大きくなあれ かぞくみんなでそだてたよ
優秀賞	若林奏奈	竜王町立竜王西小学校	1年	家族で海で遊んだよ
優秀賞	守 菜々美	守山市立守山小学校	3年	ハイチーズ 4人姉弟のナイスバランス
優秀賞	守 來実	守山市立守山小学校	5年	家族とドライブ
奨励賞	堀 遥陽	東近江市立八日市西小学校	1年	もう少して6人家族になるんだ ~早く生まれてきて一緒に遊ぼう~
奨励賞	荒木 欽奈	長浜市立小谷小学校	2年	うれしいな かた車
奨励賞	大道新太	彦根市立旭森小学校	3年	毎年楽しい家族のキャンプ
奨励賞	田原善善	高島市立朽木東小学校	5年	ひまわりといっしょにハイポーズ!
奨励賞	角田 瑚白	長浜市立びわ南小学校	6年	家族の時間を作ろう
奨励賞	富川 希	彦根市立金城小学校	6年	思い出の12年間

生徒（中学生）の部

最優秀賞	花本穂づみ	東近江市立愛東中学校	2年	お弁当のきずな
優秀賞	石内優衣	長浜市立東中学校	1年	大切な家族との思い出
優秀賞	野間朱莉	滋賀県立水口東中学校	1年	家族でお誕生会
優秀賞	中村光希	長浜市立北中学校	2年	守っていこう この笑顔
奨励賞	岡 椿	滋賀県立河瀬中学校	2年	言葉のキャッチボール
奨励賞	高山明日香	長浜市立浅井中学校	2年	大切にしよう家族との時間
奨励賞	松村菜々子	長浜市立東中学校	2年	笑顔に包まれる家庭を
奨励賞	上田優響	甲良町立甲良中学校	3年	絆と感謝
奨励賞	川上なおみ	滋賀県立水口東中学校	3年	笑顔
奨励賞	野村未來	滋賀県立水口東中学校	3年	折り紙

令和3年度

「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」作文

小学校低学年の部 最優秀賞



おかえり、おとうさん!

守山市立速野小学校 1年

水本結月

わたしは、4にんかぞくです。わたしがうまれてからすこしたって、おとうさんはしごとでべつべつにくらすようになりました。だからおとうさんといっしょにくらしたいとおもっていました。

おとうさんは、わたしが7さいになっていっしょにくらすことになりました。おとうさんがまいにちおうちにかえてくるのでうれしいです。

いままでおとうさんは、すぐにしごとばにかえらなとだめなので、もっとおとうさんといっしょにあそびたいなあずっとおもっていました。おとうさんがしごとばにかえるときは、いつもわたしに「おかあさんのおてつだいをしてね!」といました。だから、おとうさんがいないときは、おかあさんとおねえちゃんとわたしであそんだり、いえのおてつだいがんばりました。でもおとうさんがしごとばにかえたあとは、さみしくてなみだがでました。

ときどきおとうさんは、いえにかえてきていましたが、コロナのびょうきがはやってしまい、ながいあいだおうちにかつてこないときもありました。おとうさんとながいあいだあえないのはさみしいなあ

おもっていました。はやくコロナのびょうきがなくなっておとうさんがおうちにかえてきてほしいなあとおもいました。

おとうさんとあえないときは、でんわでおはなしをしました。がっこうであったことやうれしかったことやできるようになったことをいいました。でんわをきるときはかならず「はやくかえてきてね。きをつけてね。」といます。けれど、おとうさんがじこにあったときには、とてもしんぱいになりました。6ねんかんでいっばいいろいろなことがありました。

わたしは、4にんみんなでいるほうがあんしんします。わたしは、かみなりがなったときやたいふうがきたときがこわいので、まもってくれるおとうさんがいてくれるとあんしんです。

おとうさんはかえてくるとわたしにぎゅうをします。やすみには、めだかつりにいきます。これからたくさんたのしいことをふやしていきたいです。

やっぱり、3にんより4にんのほうが、うれしいです。ずっと4にんでいっしょにいたいです。わたしは、かぞくぜんいんがだいすきです。

小学校中学年の部 最優秀賞



家族が大切にしているもの

長浜市立高時小学校 3年
教 野 孔 栄

ぼくは、家族が何を大切にしているのかについて、考えました。そこで、まずお父さんに聞いてみました。すると、

「お母さんを大切にしているよ。」

と言いました。次に、お母さんに聞いてみると、「お父さんと、こうえいと、そうしを大切にしているよ。」

と言いました。ぼくは、弟のそうしを大切にしています。けんかをする事もあるけれど、あまえてきたり、ひっついてきたりするところがかっこいいです。さいごにそうしにも大切にしているものを聞きました。すると

「カエルのぬいぐるみ。」

と言いました。ぼくだと思ったのに、かなしい。

そもそも、「大切」とは、どういう意味なのだろうと思国語じてんで調べてみると、「だいじにすること。」と書いてありました。次に、「だいじ」を調べてみると、「たいへんなこと。」「大きな仕事。」「気をつける事。」「じゅうようなようす。」という四つの意味が書かれていました。ぼくは、じゅうようなようすという意味と、大切という意味は、にていると思いました。

ぼくにとって、じゅうようで大切なのは、弟のそうしなので、そうしといっしょにいた7年間について、思い出してみました。

まず、一番小さいころの思い出は、ぼくが三さいの時の事です。家の台所で、おじいちゃんにもらったジュースをのんでいました。そうしは、ぼくとなりで、立てるようになったばかりだったので、テーブルに手をのせて「バーッバーッ。」と言いながら、はねていました。

ジュースをほしそうにしていたので、一口だけあげてみました。そのころそうしは、まだミルクしかのんでいなかったのので、ジュースをのんだ後、とてもまずそうに、顔をゆがめていました。家族でおおわらしたのをおぼえています。またそうしのねぞうがおもしろいです。毎日、同じふとんでねているけど、時どき、手が上がったり、足がまがっていたりして、おどっているようなねぞうになります。そんなそうしを見て、おもしろいしかわいいと思います。

今までにした、一番すごいけんかは、2か月前です。なにがきっかけでけんかになっただか分からないけど、家の中で、そうしをおいにかけてなぐって、次は、そうしがぼくをおいにかけてきて、なぐられて、またぼくがおいにかけてなぐるというけんかでした。5,6回くり返すうちに、いつのまにか、なぐらなくなって、けんかがおわりました。意外とそうしのパンチが強くて、ぼくがなぐらいたいのけんかでした。

こんなにたく山の思い出のある弟のそうしは、たから物のようなものです。もし、ぼくにきょうだいがなくて一人だったとしたら、話しかける相手もいません。車にのっても、後ろのざせきで、一人で、のっていないといけません。おるす番も一人です。だから、そうしがいてくれて、よかったと思うし、何よりも大切にしたいと思います。

きっと、お父さんが思うお母さんへの気持ちや、お母さんが思うみんなへの気持ちは、ぼくのそうしを思う気もちと同じようなものなのだと思います。これからも、たからものように大切にしたいと思います。

小学校高学年の部 最優秀賞



あたり前はあたり前じゃない

彦根市立旭森小学校 6年

北川 琉生

ぼくは、ふつうで平和な毎日があたり前だと思っていました。ですがあたり前じゃないと思わせられた出来事がありました。それは、去年の10月ぼくのお父さんが、急に倒れてしまいこしから下の感覚がなくなってきて、その日きん急手術になった事です。医者には、「歩く事ができるかどうか分からないし、仕事に復きたり車を運転する事も難しい。」と言われました。そして、お父さんは、入院する事になりました。コロナウイルスのえいきょうで、家族ですら、お見まいする事ができず、入院している期間、今まであたり前だった事が、あたり前じゃなくなり、家族のありがたさを、改めて実感しました。この先どうなるんだろうという不安もたくさんありました。2週間ほどたって、ぼくが学校から帰ってくると、電話がなりました。その電話は、テレビ電話でお父さんからでした。あわてて取りました。久しぶりに話したけど、きん張したり、はずかしかったのか、あまりしっかり話せませんでした。他の人からしたら、たった2週間と思うかもしれませんが、ぼくからしたら、その2週間がすごく長く感じました。話を聞いていると、入院してすぐの時は、1cmも足が動かなかっただけですが、2週間程たった時には、リハビリをしたりして、まっばづえや歩行器で、少しだけどゆっくり歩けるようになったらしく、お父さんもがんばっているんだなと

思ったし、少しだけど歩けるようになっていたので希望があるように思いました。それから、たまに電話がかかってきて、そのたびにうれしくなりました。そして少しずつですが歩けるようになって、医者もびっくりするくらい回復しているらしく、ぼくは、本当にうれしくて、良かったと思いました。そして1カ月ほどすると、つえをついて歩けるようになったのでたい院が決まりました。ぼくは一か月前の生活がもどってくるとなると、とてもうれしくなりました。そしてたい院の日に病院へむかえに行って、久しぶりにお父さんと会って、とても感動しました。帰りの車では、今までにないぐらいたくさん話をしました。家に帰ると、お父さんが泣きました。ぼくはお父さんが泣く所を初めて見たので、僕もつらかったけど、一番つらかったのはお父さんだったのだと思いました。それと同時に、前の生活が本当にもどってきたんだと思いました。そして通院しながらリハビリをして、少しずつ回復して、今では、完治じゃないけどふつうに生活できる程回復しました。医者が難しいと言っていた事がすべてでき、医者が奇せきと言っておどろいていたそうです。この経験をして、今まであたり前だと思っていた生活があたり前じゃない事に気づき、平凡に毎日くらせる事が一番ありがたいんだなと思いました。

令和3年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」 絵画・ポスター
 児童(小学生)の部 入賞作品



「おいしくなあれ 大きなあれ かぞくみんなでそでたよ」

最優秀賞 堀川 愛望

米原市立米原小学校 2年



「家族で海で遊んだよ」

優秀賞 若林 奏奈

竜王町立竜王西小学校 1年



「ハイチーズ 4人姉弟のナイスバランス」

優秀賞 守 菜々美

守山市立守山小学校 3年



「家族とドライブ」

優秀賞 守 來実

守山市立守山小学校 5年



「もう少しで6人家族になるんだ~早く生まれてきて一緒に遊ぼう~」

奨励賞 堀 遥陽

東近江市立八日市西小学校 1年



「うれしいな、かた車」
奨励賞 荒木 歡奈
長浜市立小谷小学校 2年



「毎年楽しい家族のキャンプ」

奨励賞 大道 新太

彦根市立旭森小学校 3年



「ひまわりといっしょにハイポーズ！」

奨励賞 田原 善

高島市立朽木東小学校 5年



「思い出の12年間」

奨励賞 富川 希

彦根市立金城小学校 6年



「家族の時間を作ろう」
奨励賞 角田 瑚白
長浜市立びわ南小学校 6年

令和3年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」 絵画・ポスター
 生徒(中学生)の部 入賞作品



「お弁当のきずな」
 最優秀賞 花本 穂づみ
 東近江市立愛東中学校 2年



「家族でお誕生会」
 優秀賞 野間 朱莉
 滋賀県立水口東中学校 1年



「守っていこう この笑顔」
 優秀賞 中村 光希
 長浜市立北中学校 2年



「大切な家族との思い出」
 優秀賞 石内 優衣
 長浜市立東中学校 1年



「言葉のキャッチボール」
 奨励賞 岡 椿
 滋賀県立河瀬中学校 2年



「大切にしよう家族との時間」
 奨励賞 高山 明日香
 長浜市立浅井中学校 2年



「笑顔に包まれる家庭を」
 奨励賞 松村 菜々子
 長浜市立東中学校 2年



「笑顔」
 奨励賞 川上 なおみ
 滋賀県立水口東中学校 3年



「折り紙」
 奨励賞 野村 未来
 滋賀県立水口東中学校 3年



「絆と感謝」
 奨励賞 上田 優響
 甲良町立甲良中学校 3年

市から 町から

「ふれあい つながる こうらの子」を合い言葉に こうらスマイルネット（甲良町青少年育成町民会議）

甲良町では、平成22年に青少年育成町民会議を“こうらスマイルネット”と名づけ、組織としてより地域に密着した活動を展開するため、原則各字一名で構成される常任委員を中心に次のような活動に取り組んでいます。

【1】「ふれあい つながる こうらの子」行動計画の推進

今から11年前に、全世帯を対象にしたアンケートをもとに、「あいさつ声かけ」と「マナーの向上・ルール遵守」を具体的な行動目標として、町内各字、各校園、老人クラブ等の各団体がそれぞれ行動計画を策定し推進しています。5月に行動計画作成、11月に中間報告を青少年育成大会で発表2月末に実績報告をし、成果と課題をスマイルネット総会で発表しています。

【2】「青少年育成指導者研修会」の開催

子ども達の成長には、彼らを良き方向に導く指導者の存在と地域の協力が欠かせません。例年各字の事例報告や県内外で青少年育成に尽力されている方にお越しいただき、研修を深めています。

【3】「甲良町ふれあい一斉ラジオ体操」の開催

平成25年から夏休み初日に全町民参加の「ふれあい一斉ラジオ体操」を企画しています。年に一度のこのラジオ体操を心待ちにしておられる方も多く、子どもと大人が共に汗を流し、世代間交流が図れる絶好の機会となっています。体操後には、紙芝居や警察署員による防犯教室等、各字が工夫を凝らしてふれあい・絆を強めています。

【4】「少年団花壇コンクール」について

花を育てることで豊かな心をはぐくむことを目標に、春と秋に町内13字の小学生が育てた子ども花壇のコンクールを実施し、本年度の秋花壇で105回目を迎えました。土づくりや花の手入れ等地域の方々との協力を得ながら自主的に取り組んでいます。

【5】「甲良町青少年育成大会」の開催

毎年11月の「子ども若者育成支援強調月間」にあわせて、スマイルネットの取り組みの総決算として実施しています。講演会の他に子ども花壇の紹介や表彰、町内小中学生の意見発表も行い、広く町民の皆さんに今の若者の意見や思いを発信しています。



「たくましく 伸びよう 伸ばそう 長浜の子」

長浜市青少年育成市民会議

長浜市青少年育成市民会議は、19地区の青少年育成地区民会議と青少年育成に関わる43団体と協力・連携し、スローガン「たくましく 伸びよう 伸ばそう 長浜の子」のもと、4部会（環境、啓発、家庭対策、青少年活動）を中心に様々な活動を推進しています。

○「コロナ禍により増した生きづらさ」

青少年活動部会では、毎年、青少年育成にかかるテーマで「講演会」を開催しており、今年度は7月3日（土）に大阪府認定子ども家庭サポーターの辻 由起子氏に講演していただきました。コロナ禍で安心して子育てができる環境が揺らぎ、「子どもの貧困」や若者たちの生きづらさが増す中、家庭だけでなく地域全体で子育てを支えることの大切さについて熱く語っていただきました。

○青少年が“頑張っている姿（よさ）”を前面に！

「長浜市青少年育成市民のつどい」では、青少年育成関係者や青少年が一堂に会し、青少年を取り巻く課題について共通認識を深めるだけでなく、活動発表として青少年が頑張っている姿を紹介し、その取組を広め、応援するという内容を盛り込んでいます。その中で、学生映像制作チーム「想いDe」に出演を依頼し、ドキュメンタリー動画「ネットいじめ『うちの子は大丈夫、本当に大丈夫？』」を視聴しました。一人でも多くの人に深刻なネットいじめの現状を理解してもらい、いじめに苦しむ子どもたちが救われてほしいという願いを発表していただきました。

○特選標語「反抗期 心の中では ごめんなさい」

家庭対策部会では、「明るい家庭づくり標語」を市内の小・中・高等学校、一般市民に募集し、今年度は7,341点もの応募がありました。上記の標語は、最優秀に輝き、市長賞を受賞された高校生の作品です。今年度は、コロナ禍でのお家時間や家族の助け合い、家族の絆、地域でのあいさつ、友達や友人との“信頼関係”、“笑顔と感謝”の大切さ等を表現した作品が多く寄せられました。標語とともに、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」絵画ポスター入選作品を市内4会場で巡回展示し、啓発に取り組みました。

